

時分割流路セルのセッティング

- BL-15A2 下流の棚に、シリンジポンプ、シリンジ、アリ溝の台、流路の枠が保管されている。



- 長尺試料 Z ステージ及び一緒に保管されている角型-丸形変換ケーブルを用意する。



BL-10C

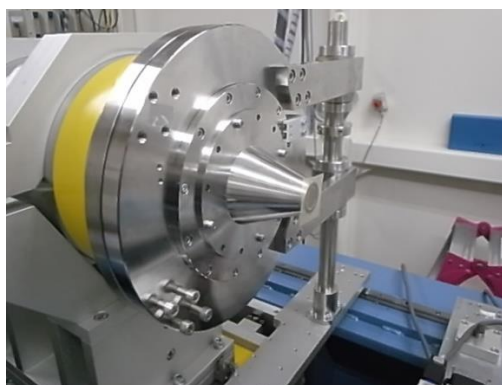


BL-15A2

- 以下の写真のノーズコーンを用いる。

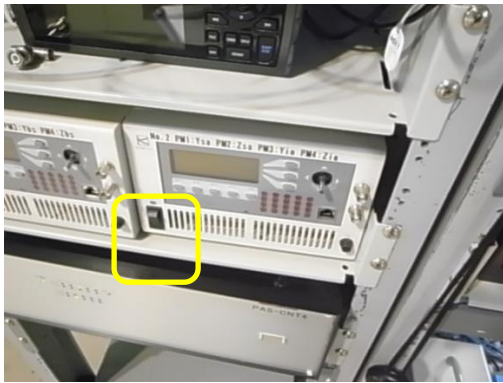


BL-10C



BL-15A2

- 試料ステージを制御している SC410 の電源を切る。

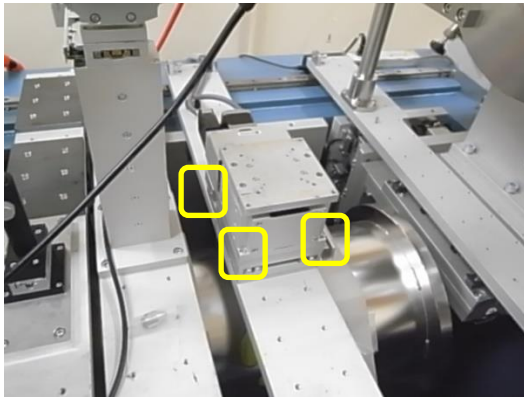


BL-10C

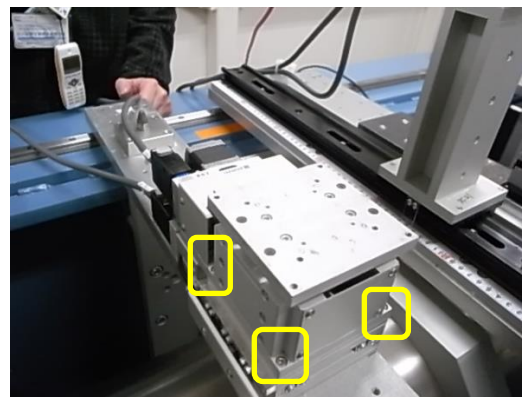


BL-15A2

- 標準試料 Z ステージを下ろして、長尺試料 Z ステージを載せる。

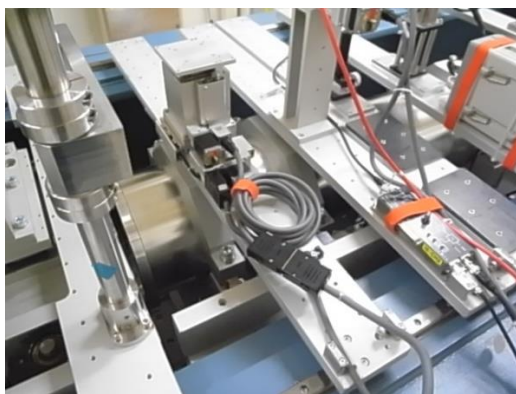


BL-10C



BL-15A2

- 長尺試料 Z ステージに、角型-丸形変換ケーブルを使って、Zsa のケーブルを接続する。

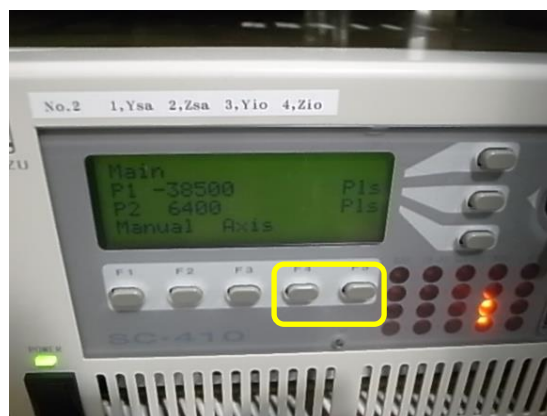


BL-10C



BL-15A2

- SC410 の電源を入れる。試料 Z ステージの設定を変更する必要がある。Main 画面で F4 と F5 を 5 秒以上長押しする。Main になっていなければ、Exit(F5) や MEN(F5) で Main 画面に戻す。



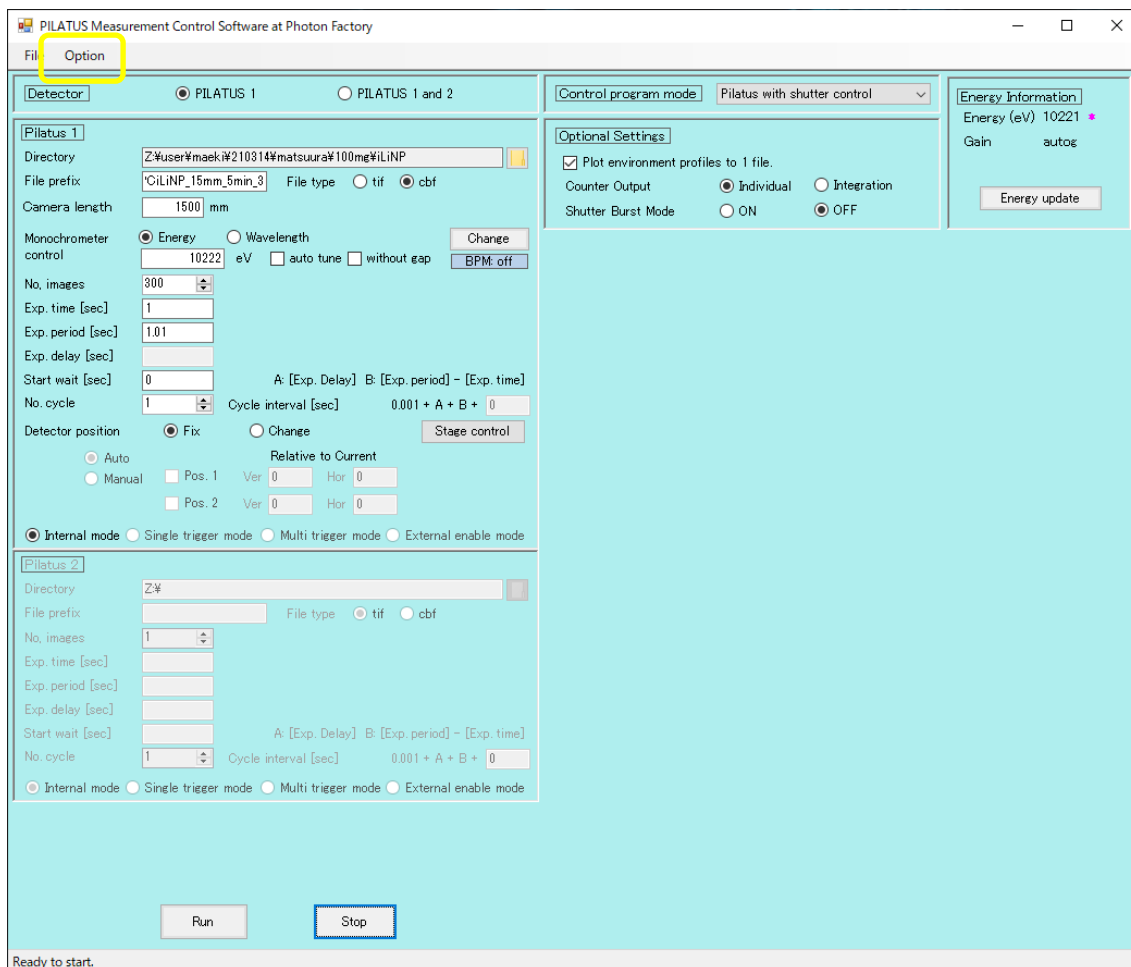
•SET-UP モードに入ったら、右枠内のボタンを押して Axis を No2 (Zsa) に変更する。



•SC410 の Zsa:Axis02 の設定を以下のように変更する。

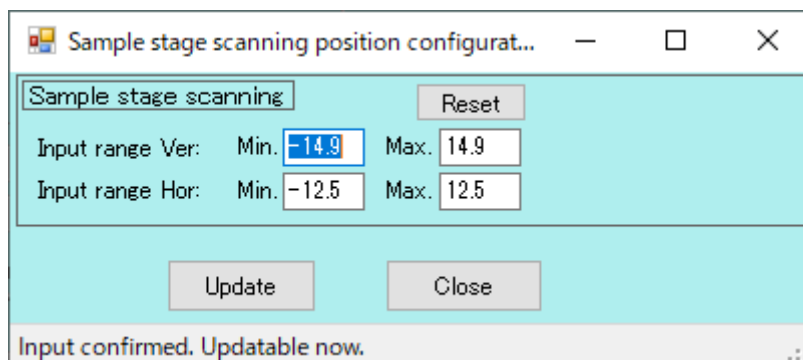
	標準試料 Z ステージ @BL-10C,BL-15A2	長尺試料 Z ステージ
Start Speed 01	500	2500
Top Speed 02	5000	25000
ACC Time 03	24	24
DEC Time 04		
Backlash Pulse 07	500	1000
Backlash Type 08	4	4
ORG Type 09	3	2

•測定ソフトウェアの Option→Setting for pilatus→Sample stage scanning configuration を選択する。



•Input rang Ver.を以下のように変更する。

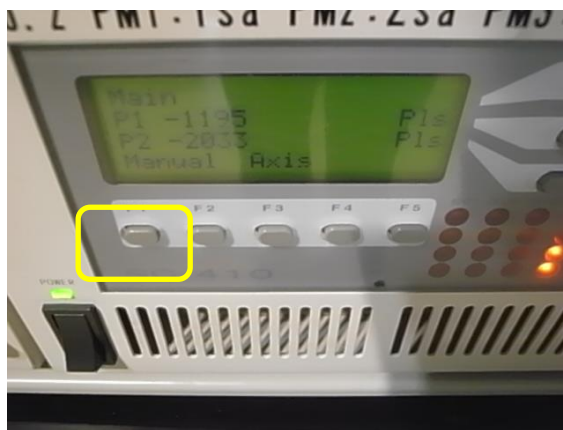
	標準試料 Z ステージ @BL-10C	標準試料 Z ステージ @BL-15A2	長尺試料 Z ステージ
Min	-7.05	-7.02	-14.9
Max	7.05	7.02	14.9



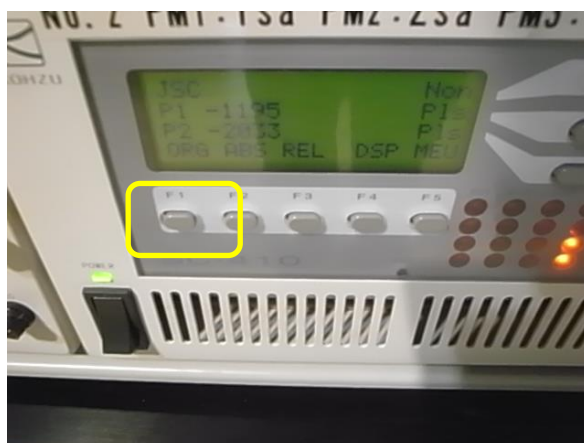
•Ctrl PC の C:\stars\stagesc\ConfigSampleStage.pl を ConfigSampleStage.pl_yyyymmdd(年月日)に変更する。ConfigSampleStage.pl_LongStrokeZstage を同じフォルダにコピーしたうえで

「**ConfigSampleStage.pl**」とファイル名を変更する(標準のステージの Config ファイルは ConfigSampleStage.pl_standard)。

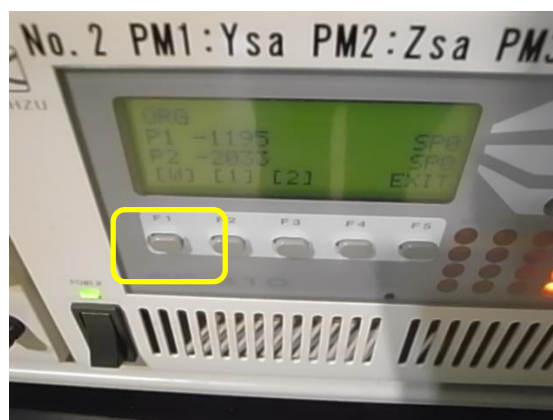
- Ctrl PC の manager(Stars device manager)を再起動する。
- SC410、Main に戻って、Manual(F1)を押す。



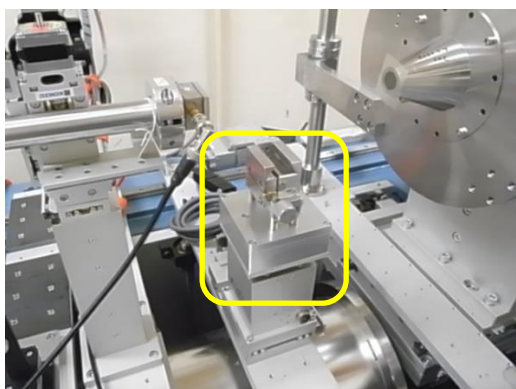
- ORG (F1)を押す。



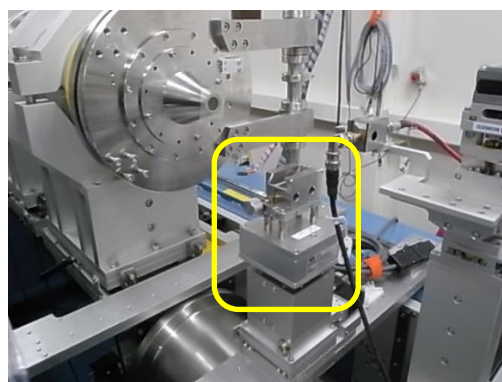
- [W](F1)を押して、Y 軸と Z 軸の ORG をとる。



- アリ溝の台を設置する。

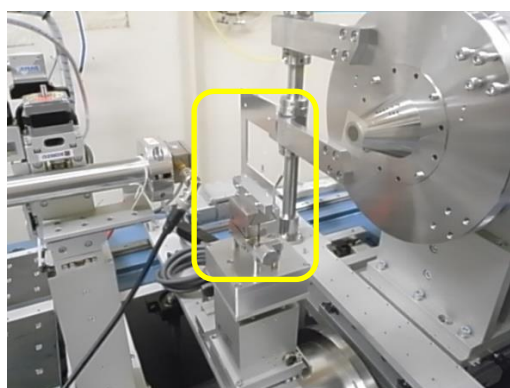


BL-10C

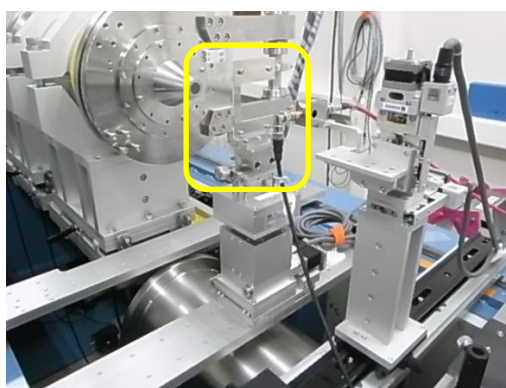


BL-15A2

• 流路の枠を設置する。

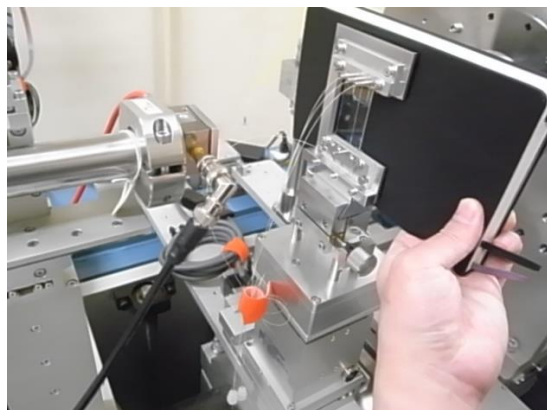


BL-10C

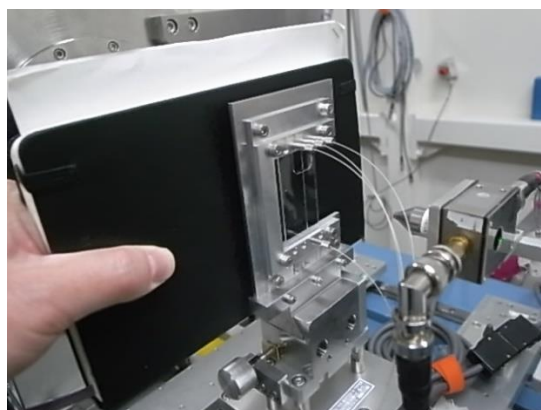


BL-15A2

• ユーザーの流路を設置する。

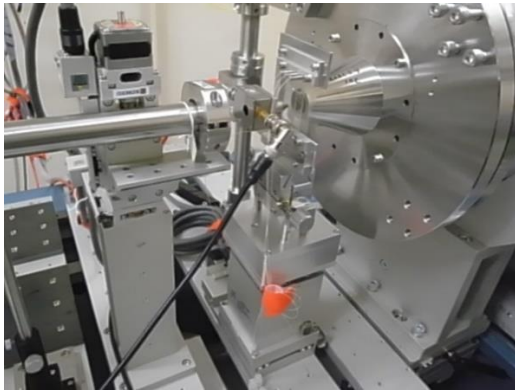


BL-10C

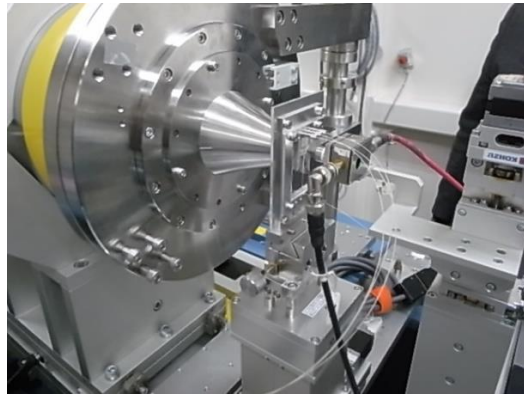


BL-15A2

• 流路とノーズ、ピンホールを近づける。

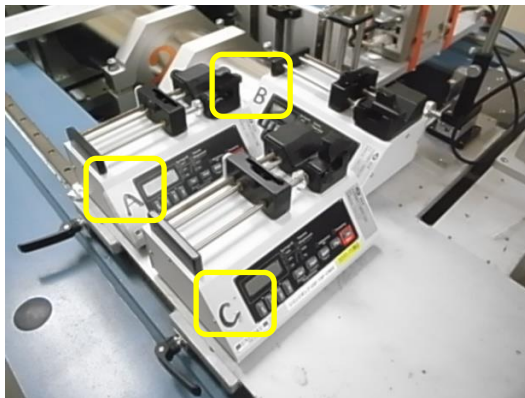


BL-10C

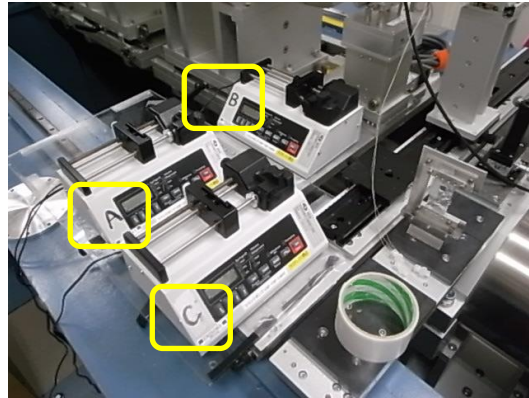


BL-15A2

•シリンジポンプを設置する。写真のように A,B,C と並べる。金属板、アクリル板を下に敷く。



BL-10C



BL-15A2

•Flow 用いていた PC を用意する。HUB2 の LAN ケーブルに接続する。



BL-10C



BL-15A2

•PC からシリンジポンプ A の PC port に接続する。



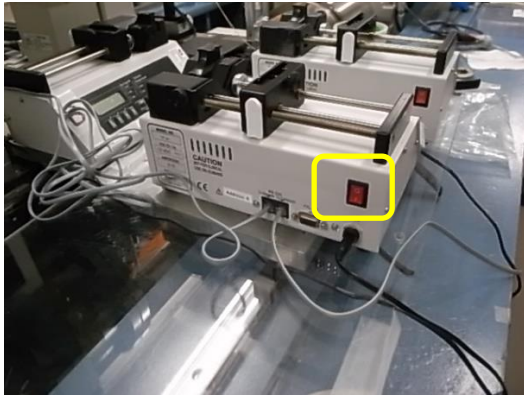
- シリンジポンプ A の Network port から、シリンジポンプ B の PC port に接続する。



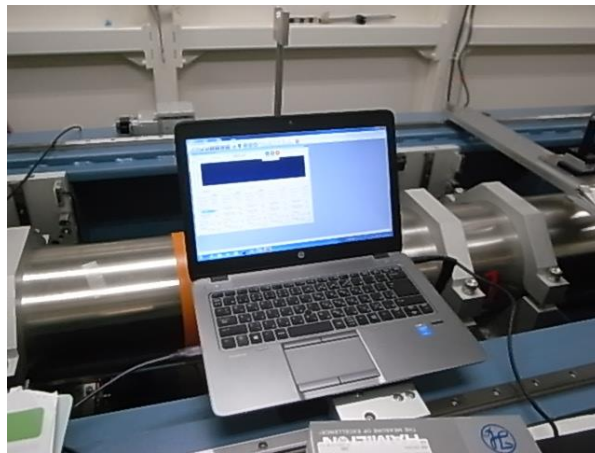
- シリンジポンプ B の Network port から、シリンジポンプ C の PC port に接続する。



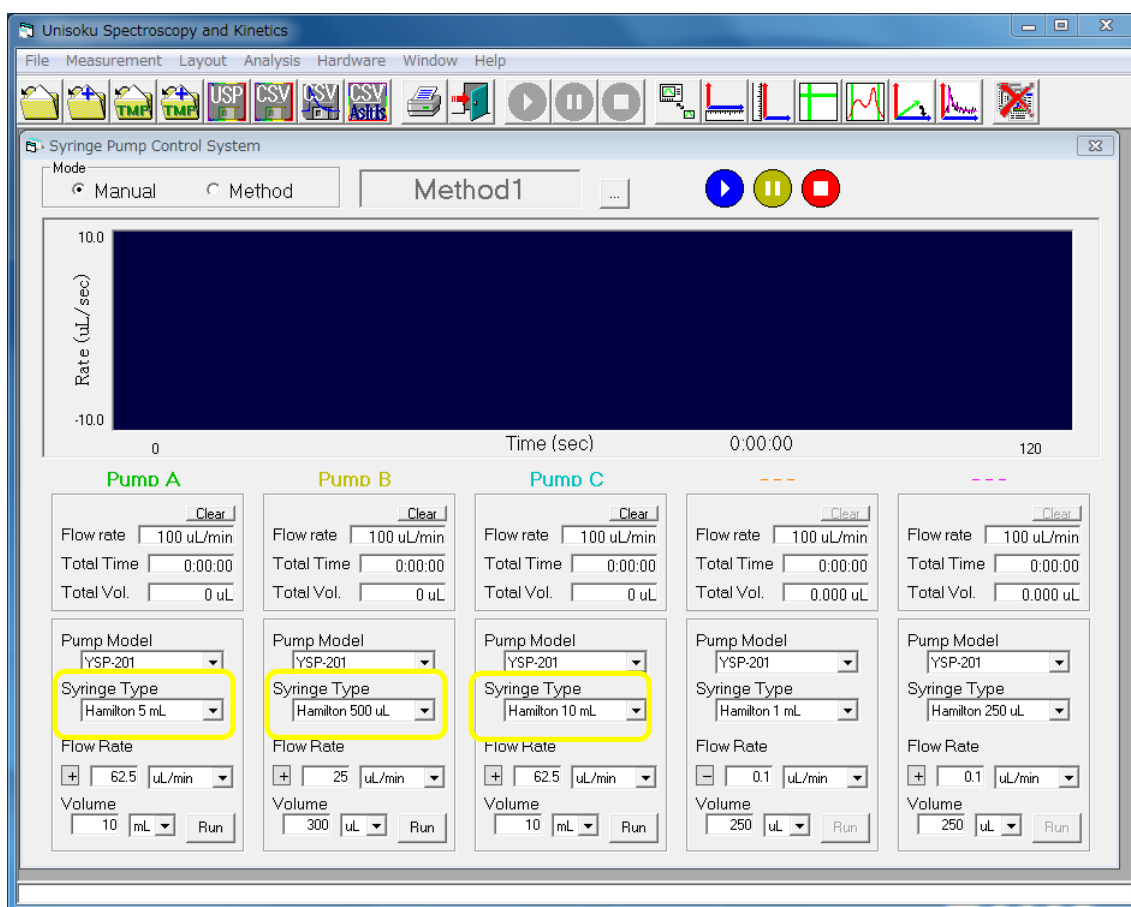
- シリンジポンプの電源を入れます。A,B,C の順に入れる。



•PC を起動する。起動したら、Unisok_5pump を起こす。



•シリンジポンプで使用するシリンジを、Syringe Type から選択する。



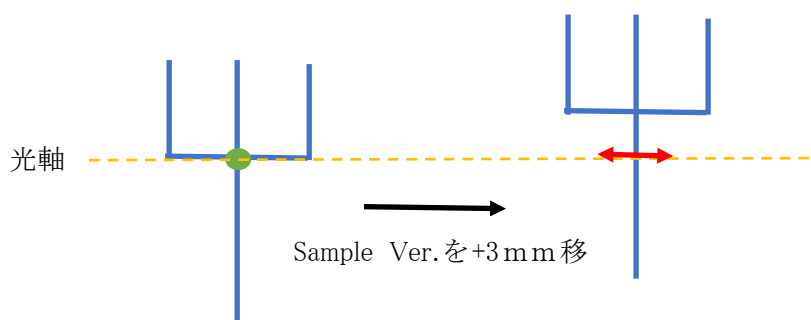
- シリンジポンプで使用するシリンジの内径を設定する。Hamilton 製ガスタイトシリンジの内径を以下の表に示す。シリンジポンプの Diameter ボタンを押すと、mm のランプが点灯する。ディスプレイに数値が出るので↑ボタンで値を変更する。小数点の移動は左端の↑/•ボタンを長押しして、一桁目が9から0になってから、右へ移動する。2秒以上待つと値が確定する。



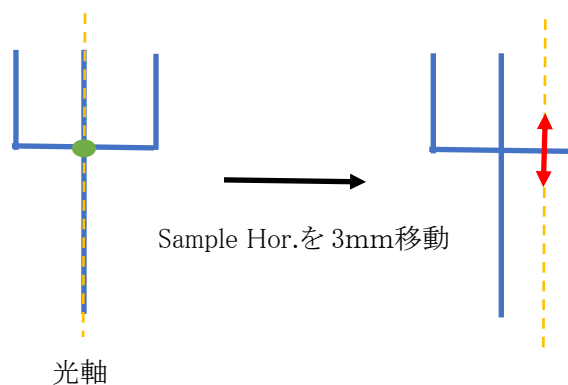
シリンジサイズ	内径(mm)
500 μ l	3.26
1ml	4.61
2.5ml	7.29
5ml	10.3
10ml	14.6
25ml	23.0

・ビームの調整にあたって、BL-15A2 の一例として S3 の開口量を 2.0x0.1 とする。S4 の開口量を 0.6x0.1~0.3 とする。※このセッティングで固定と言うわけではない。担当スタッフと相談して下さい。BL-10C で利用する場合があります。

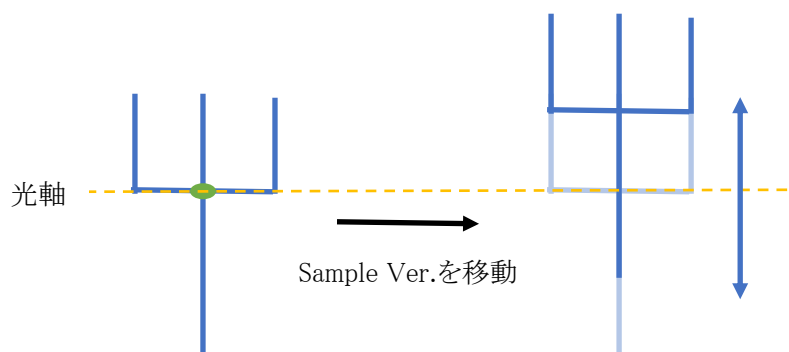
・Sample Hor.の調整。Sample ステージの調整ステージ以外は調整済とする。Sample Ver.を+3mm 移動させる。流路の幅は 1mm なので、Rel.で±1mm step0.05 でスキャンする。



・Sample Ver.の調整。Sample Hor.を 3mm 移動させる(どちらの方向でも良い)。流路の幅は 1mm なので、Rel.で±1mm step0.05 でスキャンする。



- サンプルステージ調整後、調整のため動かした分を元に戻す。Sample Ver.を移動しながら Live で見て、ストリークが大きく出ている箇所が無いか確認する。場合によっては、S4、S6 の開口量を調整する。



- AgBh を測定は、以下の写真の枠とプレートを用いる

